【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和7年3月19日(2025.3.19)

【国際公開番号】WO2023/219093
【出願番号】特願2024-520463(P2024-520463)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｂ　1/03(2006.01)
Ｈ０１Ｑ　9/44(2006.01)
Ｈ０１Ｑ　7/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　1/03　　Ａ
Ｈ０１Ｑ　9/44
Ｈ０１Ｑ　7/00

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月11日(2025.3.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
筐体と、
前記筐体内に配置されたメイン基板と、
前記筐体内に配置され、第１アンテナ部を備える、第１アンテナ基板と、
前記第１アンテナ部から出力される電磁波を反射する反射部と、
を備え、
前記筐体は、前記第１アンテナ基板と前記メイン基板を、位置固定して収容しており、
前記反射部は、前記第１アンテナ基板と前記メイン基板を収容した前記筐体の開口部を閉鎖する、送信機。
【請求項２】
前記反射部は、電磁波に対して、前記筐体よりも高い反射特性を有し、
前記反射部は、前記第１アンテナ部から放射された電磁波を、前記筐体へ向けて反射する、
請求項１に記載の送信機。
【請求項３】
前記第１アンテナ部から放出される電磁波、及び、
前記第１アンテナ部から放出され、前記反射部で反射された電磁波、が、
重ねられて、前記第１アンテナ部から前記筐体に向けた方向へ放射される、
請求項２に記載の送信機。
【請求項４】
前記メイン基板は金属材料を含み、前記第１アンテナ部から出力される電磁波を反射する、
請求項１又は２に記載の送信機。
【請求項５】
前記筐体は、前記第１アンテナ部を備える前記第１アンテナ基板及び前記反射部と、略平行な筐体面を有し、
前記第１アンテナ基板から前記筐体面までの間隔は、前記第１アンテナ基板から前記反

射部までの間隔よりも、小さい、
請求項４に記載の送信機。
【請求項６】
前記第１アンテナ部から前記反射部までの間隔が、λ／１６からλ／４の範囲であり、
λは前記電磁波の波長である、
請求項５に記載の送信機。
【請求項７】
前記第１アンテナ基板の少なくとも一部が、前記筐体面と接触している、
請求項６に記載の送信機。
【請求項８】
前記筐体は、前記第１アンテナ部を備える前記第１アンテナ基板及び前記反射部と、略平行な筐体面を有し、
前記筐体面が、略長方形形状であり、
前記第１アンテナ基板は、前記第１アンテナ部として、略Ｖ字形状の、第１のアンテナ素子及び第２のアンテナ素子を備え、
前記第１のアンテナ素子及び前記第２のアンテナ素子の両方の端部がそれぞれ、
前記筐体面の前記略長方形形状の異なる頂点へ向かって伸びている、
請求項１又は２に記載の送信機。
【請求項９】
前記第１のアンテナ素子及び前記第２のアンテナ素子の両方の端部がそれぞれ、
前記筐体面の前記略長方形形状の異なる短辺の頂点へ向かって伸びている、
請求項８に記載の送信機。
【請求項１０】
前記第１のアンテナ素子は、前記第２のアンテナ素子と共通の形状部を有し、
前記第１のアンテナ素子は、追加の経路部を、更に有し、
前記第１のアンテナ素子は、前記第２のアンテナ素子から出力される電磁波とは、位相の異なる電磁波を出力する、
請求項９に記載の送信機。
【請求項１１】
前記第１アンテナ基板は、前記第１アンテナ部として、第３のアンテナ素子を備え、
前記第３のアンテナ素子は、前記筐体面の周囲の少なくとも一部に沿って伸びている、
請求項１０に記載の送信機。
【請求項１２】
前記反射部の少なくとも一部が放熱部として形成されている、
請求項１又は２に記載の送信機。
【請求項１３】
前記反射部の前記放熱部が凸部として形成されており、
前記メイン基板が、前記反射部の前記放熱部に、直接的に又は熱伝導部材を介して間接的に、接触している、
請求項１２に記載の送信機。
【請求項１４】
前記メイン基板が、前記放熱部と接触する領域の反対側の領域に、発熱部を備える、
請求項１３に記載の送信機。
【請求項１５】
前記発熱部が増幅器である、
請求項１４に記載の送信機。
【請求項１６】
第２アンテナ部を備える第２アンテナ基板、を更に備え、
前記第２アンテナ基板は、前記第１アンテナ基板と前記メイン基板に対して、略垂直に配置されている、

請求項１又は２に記載の送信機。
【請求項１７】
前記第１アンテナ基板は、第１ケーブルを介して、前記メイン基板と接続しており、
前記第１アンテナ基板は、略長方形形状を有し、
前記第１ケーブルは、前記略長方形形状の長辺側から、前記第１アンテナ基板へ案内されて、前記第１アンテナ部へ接続している、
請求項１６に記載の送信機。